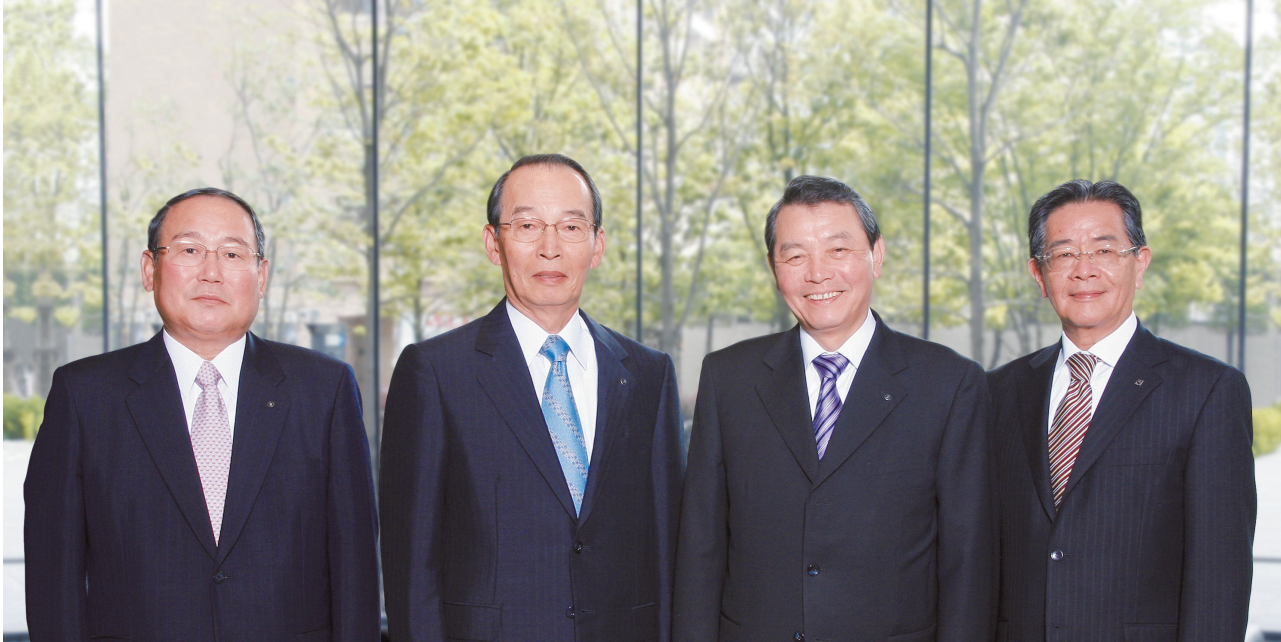


FFG

ディスクロージャー誌 2010
財務データ・資料編

あなたの
いちばんに。





親和銀行
取締役頭取
鬼木 和夫

ふくおかフィナンシャルグループ
取締役副社長
渋田 一典

ふくおかフィナンシャルグループ
取締役会長兼社長
谷 正明

熊本ファミリー銀行
取締役頭取
林 謙治

ごあいさつ

皆さまには平素より格別のお引き立てをいただき、誠にありがとうございます。

株式会社ふくおかフィナンシャルグループ（FFG）は、平成19年4月に福岡銀行と熊本ファミリー銀行による共同株式移転により設立され、同年10月に親和銀行を迎え、九州を基盤とする3つの銀行を傘下に持つ「広域展開型地域金融グループ」であります。

当社グループは、FFG設立に合わせ「第一次中期経営計画」を策定後、親和銀行の完全子会社化を機に「第二次中期経営計画」として再スタートさせました。その間、「飛躍的な成長ステージ」に向けた「助走ステージ」として、3ブランド・シングルプラットフォームと呼ぶ経営体制を構築し、加えて3行の事務・システムを統合する等の経営インフラ整備を進めてまいりました。また、熊本ファミリー銀行と親和銀行は、バランスシートの改善を図り、不良債権問題と訣別し、両行の自己資本比率は格段に向上する等、正に健全行として生まれ変わりました。

平成22年4月にスタートしました「第三次中期経営計画」は、これまで構築してきました経営インフラを徹底活用して生産性を劇的に向上させるとともに、営業面での積極展開を巡航速度で進める「加速ステージ」に移行します。

「第三次中期経営計画」は、ブランドスローガンである“あなたのいちばんに。”を徹底追求することが計画の根底であることから「ABCプラン ～Always Best for the Customer～」と名付けました。

基本方針として、「お客さまとのリレーション強化」「生産性の劇的な向上」「FFGカルチャーの浸透」「安定資産の積上げ」という4つの柱を掲げております。特に「お客さまとのリレーション強化」においては、お客さまとのコミュニケーションを大切にし、より深く「お客さまを知る」ことで、相互に信頼関係を構築する、“あなたのいちばんに。”を実現していく活動に真摯に取り組んでまいります。

さて、このたび平成21年度のFFGグループの経営方針や事業概況をまとめました「FFGディスクロージャー誌2010『財務データ・資料編』」を作成いたしました。当グループをより深くご理解いただくためのご参考となれば幸いです。

平成22年7月

株式会社ふくおかフィナンシャルグループ
取締役会長兼社長 谷 正明

FFG ディスクロージャー誌 2010 「財務データ・資料編」

CONTENTS

02	ふくおかフィナンシャルグループについて	33	主な業務の内容
04	平成21年度の業績ハイライト	34	福岡銀行
05	ふくおかフィナンシャルグループ	38	店舗一覧
06	福岡銀行	41	店舗外自動サービスコーナー
07	熊本ファミリー銀行	42	自動サービスコーナーのご利用時間と手数料
	親和銀行		ローンセンター・ローンプラザ
08	第三次中期経営計画	43	熊本ファミリー銀行
	リスク管理への取組み	45	店舗一覧
11	リスク管理について	46	店舗外自動サービスコーナー
12	統合的リスク管理	47	自動サービスコーナーのご利用時間と手数料
13	自己資本管理		ローンプラザ・情報プラザ
14	信用リスク管理		親和銀行
20	市場リスク管理	48	店舗一覧
21	流動性リスク管理	51	店舗外自動サービスコーナー
22	オペレーショナル・リスク管理	53	自動サービスコーナーのご利用時間と手数料
		54	ローンプラザ・しんわプラス
25	コンプライアンスへの取組み		財務データ編
27	CSRへの取組み	56	ふくおかフィナンシャルグループ
		97	福岡銀行
		161	熊本ファミリー銀行
31	企業集団の状況	216	親和銀行
		272	開示項目一覧

会社概要

商号	株式会社ふくおかフィナンシャルグループ (英文名称 Fukuoka Financial Group, Inc.)
本社所在地	福岡市中央区大手門1丁目8番3号
設立日	平成19年4月2日(月)
事業内容	銀行、その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理およびこれに附帯する業務
資本金	1,247億円
上場証券取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所および福岡証券取引所

■本誌は、銀行法第21条および第52条の29に基づいて作成したディスクロージャー資料です。
 ■本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境に関する前提条件の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。